

チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	-（事務局用）	ずっと室蘭で活躍し、応援してほしい！市外で活躍されている方も、いつか室蘭で活躍してほしい！	北海道室蘭市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	産学官民連携による学生就職支援システム		

（注1）地域課題タイトルは、COG2020 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	Cra\$ Makers（クレイドルメイカーズ）		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	7名		
代表者（公開）	黒川唯人		
メンバー（公開）	最上徹義 田中菜月 小山幸	加藤人誌 藤谷和樹 横川舜介	

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2020_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2020 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2020@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示－非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認

<input type="radio"/>

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

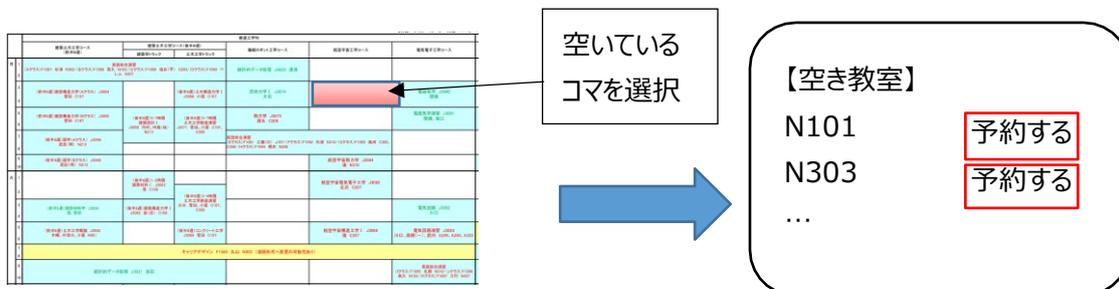
必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

2. アイデアの説明（公開）

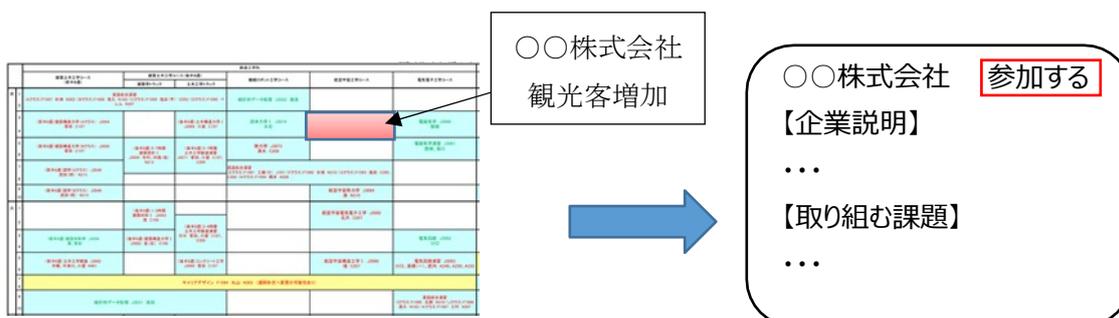
(1) アイデアの内容（公開）

- 例：市役所——1. 観光客が少ない。（70 件）
2. 公共交通機関の利用者を増加させたい。（室蘭市）
高砂町——…
水元町——…

5. 企業はアプリでアカウントを作成し、課題リストを確認し、解決したい課題を選択。大学教室予約に移る。



6. 学生はアプリでアカウントを作成し、5 が反映されたアプリ上の時間割で、気になるコマを選択。企業の詳細と、取り組む課題を確認できる。もし参加したいものであれば、参加予約をする。



7. 実際に予約した教室で、企業と学生が共に課題解決に取り組む。その際、市民にアプリ上でアンケートを取ることが出来る。アンケートはその課題を投稿した市民に届き、アプリ上で回答する。

以上が、アプリの流れである。
このシステムによるメリットは、

- <市民> 課題を解決してくれるおかげで、住みやすくなり、生活の質が上がる。
- <市役所> 市役所だけでは解決できないことを、企業と学生が協力して解決してくれる。
- <企業> 課題リストで市場を確認できる。
学生という人材を得られる。
- <学生> 課題解決能力が向上する。
企業とのつながりを得ることで、就職しやすくなる。

そして、課題を解決していく上で、室蘭工業大学生は室蘭市についてよく知り、市外就職したとしても、移住の機会ができた際に、室蘭市が移住候補として挙がる可能性がある。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それを**サポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明**してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」これをやりたいのかの思いを上記のデータを示しつつ書いていきます>

北海道室蘭市では、年々人口が減少している。そこで市役所は、その減少を少しでも抑えたいため、室蘭総合戦略にて次の数値目標を設定した。

- A. UIJ ターン促進による就業者数を令和 2～6 年度で 60 名（12 人／年）にすること。
- B. 室蘭工業大学卒業生の道内就職者数の割合が令和元年度に 58.0%（実績は 37.6%）にすること。

そのために次の問題意識がある。

- C. 室蘭へ UIJ ターンしてほしい。
- D. 室蘭の学校に通う学生が、室蘭に就職して、室蘭で活躍してほしい。
- E. 新型コロナ（COVID-19）の影響により、首都圏から地方へ移住する人が増加する可能性があり、室蘭で働けることをしてほしい。

さらに今回 COG において、SDGs を考慮し、

- F. 室蘭の強みを生かし、産学官連携で実現する。

以上の 6 点に注目しアイデアを考えた。

まず、私たちは B・D・F のために、産学官連携がどのように室蘭就職者数に繋がっていくか調査した。その結果、山形県のデータにて、産学官連携による成功例がある。

<産>(株)東北ハム

<学>慶応義塾大学先端生命科学研究所(IAB)

<官>山形県鶴岡市

以上の産学官が連携し、バイオクラスター形成促進事業を行い、IAB を中心とした拠点全体で約 550 人の雇用が創出された。

そして室蘭市の特徴として、

- 札幌市・新千歳空港まで 2 時間で行ける高速バスがある。

- 海に面しており、空港も近いので、資材を調達しやすい。
- 室蘭工業大学生という人材がある。
- 都市開発の余地がある。
- ビジネスチャンスとなりうる課題がある。

という企業が室蘭市に進出する要素がある。

次にA・C・Eについて、室蘭市外に居住している人達が移住する際に、室蘭市を移住候補に挙げ、UIJ ターン促進させる方法を考えた。そもそも室蘭市について知らなければ移住候補になりえない。有名都市（札幌市・小樽市・函館市など）に目が行ってしまう。しかし、室蘭市に関わりを持たない室蘭市外の住民に、室蘭市を宣伝することは困難である。そこで、室蘭工業大学生にさらに室蘭市を知ってもらうことで、市外就職して転職、結婚などで移住する機会が来た際に、室蘭市が候補になることを目標とした。今回、この流れはUIJのどれにも当てはまらないので、ここではI+Uターン（例：函館→室蘭→札幌→室蘭）と表現する。

以上の事から、私たちは1つの企業に限定するのではなく、多くの企業、そして学生が主体となった産学官連携を目指し、さらに市民を巻き込むことで、室蘭市を住みよい街に。学生が室蘭市についての知見を広め、室蘭企業に就職しやすい環境、もしくは市外就職したとしても移住の際、室蘭市が選択肢に挙がるサービスを考えて。

参考文献・データ

[1] COG, [チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 \(u-tokyo.ac.jp\)](https://www.u-tokyo.ac.jp/), 2020/12/16

[2] 総務省, https://www.soumu.go.jp/main_content/000706704.pdf, 2020/12/16

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます>

今回 COG での課題提供元は室蘭市であり、室蘭市の人口問題を解決するためのアイデアなので、実際にこのシステムを実現するための主体は、市役所が適任である。

そして、実現に必要な資源は以下である。

<ヒト>

- アプリ開発者 ⇒外部システムエンジニアを雇う
- アプリ管理者 ⇒外部システムエンジニアを雇う
- 課題提供者 ⇒広告によりユーザーを確保
- 課題ピックアップする市役所の役人 ⇒市役所内で選任
- 室蘭企業 ⇒広告により確保
- 学生 ⇒広告により確保

<モノ>

- アプリを使用するための、個人それぞれのデバイス（スマートフォン） ⇒各人に依る
- 課題解決をする場（室蘭工業大学の教室） ⇒大学から許可を得る

<カネ>

- アプリ開発費（200 万円） ⇒市の資金

手順は以下である。

1. 室蘭工業大学の空き教室を使用するために、大学の許可を得る。
2. アプリ開発・管理のためのシステムエンジニアを雇う。
3. アプリのユーザーを確保するため、SNS 上で宣伝する。
4. 課題ピックアップする市役所の役人を選任
5. アプリのデバッグ、及び運用試験。
6. アプリの運用開始、及びアプリ管理。

◎ **実現までの流れ** 市の資産 目標：200万

